

2018年11月18日 経営学部 国語基礎学力型

〔一〕

問1	1	2	3	4
	はやし	舞台	そうごん	徹底
	5	6	7	
	妥協	達成	浸透	
問2	ア			
問3	ウ			
問4	オ			
問5	相対			
問6	これを知っ			
問7	イ			

〔二〕

問1	1		2	
	素描		対照	
問2	問3	問4	問2	
エ	オ	イ	エ	
問6		問7		問8
もちろんと		弾性に富む		エ

〔三〕

問 1

オ

問 2

便利がもたらす良い点について、論者②はコンビニエンスストアの経営者の立場から、高齢者や働く女性がどんな時間帯でも家の近くで買い物ができること、大災害が起きた時にライフラインの役割を担えることを例に挙げている。

一方、便利がもたらす問題点については、論者①は深夜営業の店や宅配業者の大きな負担を指摘し、論者③は便利な商品やサービスにおける提供者側の価値観の押しつけと利用者の自由や主体性のなさを挙げている。

私の考えは論者③に近い。「本来あるべき便利のあり方」とは、利用者の自由や主体性をサポートするものであるべきだ。もちろん、論者①が述べる、高齢者や働く女性の生活の援助や、災害時のライフラインの確保は必要だ。しかし、前者は地域協力や企業内の助け合いで、後者は公的システムの改善で対応可能な問題だ。論者③が述べる、不便さがもたらす「主体性」や「工夫」の意識こそ、現代人に不足しているものである。(395字)